

患者さんの
ための

新型コロナウイルス 感染症対策

生活MAP

～家での生活から通院まで～



治療中の
みなさんの不安に
お答えします

監修

がん研究会有明病院
副院長 乳腺センター長

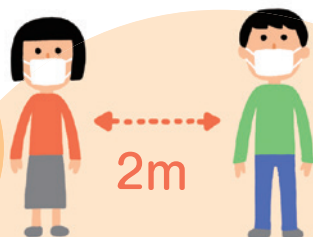
大野真司 先生



実践して
いますか？

新しい生活様式

お互いに
手をのばしたら
届くぐらいの距離、
最低 2mは
空けよう



人と人との距離を確保

外出時、
屋内にいるとき、
会話をするときには
症状がなくても
着用しよう



マスクの着用

感染防止の3つの基本

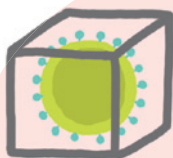
水と石けんで
30 秒程度かけて
丁寧に洗おう。
指の間や手首も
忘れずに！



手洗い

※目的地に到着したとき、トイレの後、くしゃみをしたり鼻をかんだりしたとき、帰宅したとき、調理の前、食事の前などのタイミングでこまめに行い、手指の消毒もしましょう。

窓がない、換気が
できない等の
密閉された場所



密閉

お互いに手が届くところ
(目安として 2 m以内) で
会話や発声・運動などをする



密接

「3密」を避けよう



密集

不特定多数の人が
集まっている場所

日常生活での基本



毎朝の体温測定

健康チェック



咳エチケット



こまめな換気

新型コロナウイルスの感染リスクは「誰にでも」あります。完全に防ぐことは難しいので、感染リスクを下げる努力を怠らないようにしましょう。



教えてください！

大野先生



新型コロナウイルスには、
どのように
感染しますか？

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は新種のコロナウイルスによって引き起こされる感染症です。感染した人からの咳やくしゃみ・つばなどの飛沫や、閉鎖された空間で多くの人と近距離で会話をする事で感染するリスクが高まります。床や物の表面に付着したウイルスに触れた手指で口・鼻・目などを触る事で感染する可能性もあります。ウイルスを「体に入れない」よう意識することが大切です。



がん治療中だと
重症化しやすい
のですか？

患者さんは、がんそのものや化学療法などのがん治療で一般的に体力が落ちやすく、お薬の種類によっては白血球が減り、免疫の働きが低下してしまうものもあるため感染した場合は重症化しやすいと考えられています。現在治療中の方だけではなく、1～2年以内にがん治療を経験された方や、治療から数年経ち「自分は元気！」と想着いても、血液検査のデータ上、免疫の働きが低下している方もいます。

特に重症化
しやすい
がん種は
ありますか？

肺がん、血液のがん、転移があるような進行がん、最近手術を受けた方は、特に重症化のリスクがあるという報告もあります。転移先の部位による重症化のリスクは分かっていますが、肺転移、脳転移や骨転移の方、治療で骨盤や脊椎の広範囲に放射線を当てた方は、白血球が減るなどの副作用が出る場合もあるため、しっかり感染予防対策をしましょう。



感染した場合、
新型コロナ
ウイルス感染症の
候補薬を使うことは
できますか？

新型コロナウイルス感染症の治療薬として候補に挙がっているお薬と、がん治療のお薬（抗がん剤や分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬など）との相互作用については、まだ分かっていないことが多くあります。新型コロナウイルス陽性の結果が出れば、がん治療は一時中断し、まずは新型コロナウイルス感染症の治療を行うことになりますから、治療薬については担当医とよくご相談ください。



中面では、がん治療中、通院中の
患者さんが、安心・安全に過ごす
ためのポイントを紹介しています。



通院前に

この10日間の
体調はどう
だったかな？

起きたら

起きたら
まずは
体温チェック！

過去10日以内に発熱・
咳・息苦しさ・風邪の症
状・のどの痛み・味や臭
いを感じないなどの症
状があれば受診日を延
期していただく場合が
ありますので、病院へ
電話でご連絡ください。

暑い季節は、くれ
ぐれも熱中症に
は気をつけて。
こまめな水分補
給を忘れないで
ください。

PET など高価な検査薬を
必要とする検査が予定
されている際に、発熱など
コロナ感染の疑いがある
場合には、なるべく早め
に病院へ検査延期の連絡
をするようにしましょう。

お出かけ準備

今日は通院日。
お薬手帳。
手指用消毒液に
除菌シート…。
マスクも忘れずに。

念のため、
マスクの予備
も用意してお
けば安心です。

出発

気をつけてねー
いっしょにいっしょ

行ってきまーす

大野先生 からの アドバイス

「通院して感染するのが怖いから」と自己判断で治療を止めてしまうと、がんが進行してしまうリスクがあります。通院が不安なときや体調が優れないときには、病院に電話をして担当医や看護師に相談してみましょう。もし家を出る前に熱があれば、担当医に連絡を取って判断を仰いでください。

がん治療によって発熱した場合（術後や化学療法の副作用など）と、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の発熱では、症状だけでは見分けることができません。感染していると周りの人にうつしてしまう可能性もあるため、無理をして病院へ行くのは控えてください。

移動中に

手すりやドア、電車などの吊り革、バスの降車ボタンなどにウイルスが付着することもありますので、こまめに手指の消毒をしましょう。



バスや電車、駅のホームなどでは3密を避けなくちゃ！

なるべく空いている時間帯に移動してください。

交通機関で

色んな所に触れた手で目をこすったり顔周りを触ったりしないように気をつけなきゃ。



着いた〜



こんなサービスも



医療機関で発行された処方箋のお薬を自宅で受取るサービスを利用すれば、外出や人との接触が減り、感染リスクを下げられます。

● 治療をするメリット vs 治療をしないリスク

がんの進行を抑えられる

メリット

感染のリスクを回避

治療をする

治療をしない

感染するかもしれない
ゼロではないが確率低い

リスク

がんが進行する可能性

大野先生からのアドバイス



外出の際には常に新型コロナウイルスなどの感染症に気をつけることが大切です。「感染するリスク」と「治療や通院とのバランス」の中では難しい選択でもあります（図参照）。「感染するリスク」はマスクの着用、人との距離を十分に確保、目的地に着いたらすぐに手指の消毒をするなどの感染対策を徹底することで減らしていくことが可能です。

放射線治療は通院で行う場合が多いので、治療を優先させるのか（入院治療できる病院もある）、感染予防を優先させるのか、担当医とよく相談してください。

病院内で

病院に着いたら、まずは手指の消毒をお願いします。

院内感染を防ぐためにさまざまな対策がとられていますから、患者さん・ご家族の皆さんにも協力をお願いします。

病院に着いたら

院内感染が心配だなあ…。

石けんと水でこまめに手洗いをすれば無理に使わなくてOKですよ。

副作用で手先や爪が荒れているから手指用消毒液は沁みるのよね…。

- 病院内ではマスク着用（売店などで購入も可）
- 待合室などでは座席の間隔を空けて
- 付添いは必要最小限の人数で

ここに注意！

お見舞いは病院によって対応が異なりますので事前に確認しましょう。

検査着の着替えなどでロッカーや更衣室を利用した後やトイレ利用後には、必ず石けんを使って手を洗いましょう。

ここに注意！

受付時などのタッチパネル、エレベーターや自動販売機のボタン、診察室のドア、トイレなどの共有部分にウイルスを付着させないためにも、やはり手指の消毒は重要です。

お大事に～

お世話になりました

大野先生からのアドバイス

通院の回数を減らすために「入院する」「病気の種類や状態によっては点滴治療から飲み薬に変更する」などの選択肢は、新型コロナウイルスに感染するリスクを減らせるメリットがあります。ただし、飲み薬では通院が減るため副作用に対処しづらいというデメリットもあります。また、飲み薬の中には免疫細胞を減らす作用のお薬もあるので、点滴から飲み薬にしたからといって感染リスクが減るとはかぎりません。安心・安全に治療が続けていけるよう、担当医や看護師、薬剤師に相談し、一緒に考えていきましょう。

帰宅したら



まずはしっかり
手洗い・うがい！
顔も洗うと
さっぱりする～！



うがい薬は粘膜
を傷つけてしま
う場合もあるた
め、水うがいで
十分。洋服も着
替えましょう。

まずは手洗い

こまめな換気

窓を開けて風を通し
ましょう。扇風機を
一緒に使ってもよい
ですね。換気扇やエ
アコンでの換気は不
十分ですよ。



部屋の換気も
しなくちゃ！



TVやインターネット
などの情報から
少し距離を置いて
みるのもひとつの
方法ですよ。

情報に疲れたら

また、コロナの
話題だ…。
ちょっと疲れるな。

今日の感染者数は…



ママとあつちで
絵本読もうか？



心配ごとや不安
なことがあれば、
遠慮なく担当医
や看護師にご相
談くださいね。

大野先生
からの
アドバイス



まずは手洗い。外からウイルスを持ち込んでいる可能性から、衣類を脱いで洗濯をしたり、体調に問題がなければシャワーを浴びて付着しているものを全部洗い流すのもよいでしょう。生活の変化によって心に不調を感じている方もいらっしゃるかもしれません。上手に気分転換をしながら心のメンテナンスも行っていきましょう。

これからは新型コロナウイルスと共生する「新しい日常」の中で、感染の可能性・通院・治療などを天秤にかけながら日常生活を送っていくことになります。感染リスクは「いつもある」と考えて普段から予防していきましょう。

●厚生労働省 新型コロナウイルスに関する Q&A (一般の方向け)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html



●日本癌治療学会、日本癌学会、日本臨床腫瘍学会 (3学会合同作成)

がん診療と新型コロナウイルス感染症：がん患者さん向け Q&A

https://www.jsmo.or.jp/general/coronavirus-information/qa_3gakkai.html



●日本放射線腫瘍学会 がんの放射線治療後の免疫力について

https://www.jastro.or.jp/customer/news/20200425_2.pdf



●国立がん研究センター がん情報サービス
新型コロナウイルスに関する情報へのリンク集

<https://ganjoho.jp/public/support/infection/covid19.html>



●日本薬剤師会

電話やスマホで薬の説明を受け、自宅でお薬を受け取ることができます

<https://www.nichiyaku.or.jp/assets/uploads/activities/20200907-01.pdf>



●新型コロナウイルスの感染が疑われる場合は

患者さん自身の感染が疑われる場合は、がん治療の担当医にご相談ください。
もし、ご家族に発熱、咳、味覚障害、臭いを感じないなどの症状があれば、かかりつけ医や新型コロナウイルスの感染が疑われる人が受診できる身近な医療機関に電話で相談してみましょう。また、どこに相談したらよいのか分からない場合は、お住まいの地域の相談センター（健康福祉センター・保健所など）に電話でご相談ください。今後、新型コロナウイルス感染状況により受診体制が変わってくる可能性がありますので、公共機関からの情報発信に注意しながら対応しましょう。



お住まいの地域の相談先

『教えてください！大野先生（新型コロナウイルス Q&A）』

出典 日本癌治療学会・日本癌学会・日本臨床腫瘍学会 (3学会合同作成) 「がん診療と新型コロナウイルス感染症：がん患者さん向けQ&A」

https://www.jsmo.or.jp/general/coronavirus-information/qa_3gakkai.html

日本肺癌学会「COVID-19 パンデミックにおける肺癌診療」

https://www.haigan.gr.jp/modules/covid19/index.php?content_id=1

(2020年9月閲覧)

すべての革新は患者さんのために



中外製薬株式会社

 ロシュ グループ